

## <鎌倉市：由比ガ浜パーク&ライド>

<b>施策名</b>	由比ガ浜パーク&ライド
<b>取り組みの背景</b> 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1：鎌倉時代の道路網を現在も踏襲している鎌倉地域では、鎌倉観光を目的としたマイカーによる交通渋滞が深刻化しており、特に土・日曜、休日ともなると、路線バスの運行時間は定刻の5倍から10倍にもなる。豊かな自然環境と歴史的遺産を有する鎌倉地域では、交通渋滞の抜本的な対策である道路整備もままならない状況にある。 背景 2：「土・日曜、休日は外出を控えている」という意見が地域住民から出されるほど、交通渋滞は市民の日常生活に大きな影響を与えており、早期の問題解決が必要である。 背景 3：このため、長期的な視野に立った道路整備と並行して、短期的に問題解決を図るべく、TDM施策導入のための検討を行っている。
<b>目的・ねらい</b> 目的・ねらい 対象交通 など	目的・ねらい： 鎌倉地域内の交通量を道路容量に見合ったものとし、市民生活に支障のない交通環境を整えるとともに、併せて観光客の歩行環境も整えることを主な目的としている。 対象交通： 鎌倉地域へ流入する観光を目的としたマイカーが対象となる。
<b>取り組みの経緯</b> 経緯・熟度 など	平成7年7月、市民参画による「鎌倉地域交通計画研究会」を設置し、約10ヶ月の検討を経て、20の施策からなる「鎌倉地域の地区交通計画に関する提言」を受ける。「由比ガ浜パーク&ライド」は、その中の一施策である。 平成11年に、別の駐車場を利用してパーク&バスライド社会実験を実施。利用者アンケート調査によって、ニーズを把握するとともに、実現に向けたシステム内容の再検討を行った結果、平成13年12月から本格実施。
<b>主体・広報・費用</b> 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	実施主体：京浜急行電鉄(株)、江ノ島電鉄(株)、神奈川県道路公社、神奈川県 検討組織：鎌倉地域交通計画研究会(平成13年9月解散)、京浜急行電鉄(株)、江ノ島電鉄(株)、神奈川県道路公社、神奈川県、鎌倉市 広報：本格実施後は、神奈川県、鎌倉市が主体となって広報PRを行っている。主な内容は、ポスター、チラシ配布、市ホームページでの情報提供、県・市広報誌への掲載、沿道への案内看板設置、旅行雑誌への記事掲載等 費用負担：本格実施の際、オムニバスタウン計画の一環として、シャトルバスの購入費用を国土交通省、鎌倉市が補助。実施後の運営費用は、事業者が負担。県・市により広報PR費用を負担。

<b>実施概要</b>	対象地域：江ノ電由比ガ浜駅周辺
対象地域	実施日時：平成 13 年 12 月 1 日（土）～
実施日時	（平成 15 年 1 月 11 日からシステムを一部変更）
施策内容	土曜日・日曜日・休日の 9 時～18 時
など	施策内容：自動車 1 台あたり 1,600 円で以下のサービスを提供
	【内訳】
	4 時間分の駐車料金
	「由比ガ浜地下駐車場～鎌倉駅・鶴岡八幡宮方面へ向かうシャトルバス」
	と「5 つの指定バス路線」及び「江ノ電鎌倉駅～長谷間」が一日自由に
	乗り降りできるフリー切符が 2 枚
	【特典】
	協賛寺社の拝観料割引や縁起物の進呈等
	協賛美術館の入館料割引や粗品進呈
	協賛店の特別サービス
	【その他】
	4 時間を超えた場合の駐車料金は 2 0 0 円 / 3 0 分
	同乗者 3 人目以降は、大人 1 枚 4 4 0 円・小人 1 枚 2 3 0 円でフリー切
	符追加購入可
	駐車場は、一般駐車場利用者と共用（2 0 0 台）
	上記下線部分が、システムを変更（追加）した内容
<b>効果測定内容</b>	効果測定内容：月毎に利用台数を把握、利用者アンケート調査による二
測定内容	ズの確認及び必要に応じたシステム変更の検討
効果把握	効果把握結果：定量的な効果の把握はなされていない。
など	
<b>取組上の課題</b>	課題 1：利用者からの要望に基づき、平成 15 年 1 月から、システム料金は
合意形成	据え置きで利用できる公共交通機関を追加（江ノ電鎌倉駅～長谷駅）したと
費用負担	ころ、利用者から好評を得ている。今後は、システムの定着に向けた効果的
など	かつ広範な広報 P R を行う必要がある。
	課題 2：「取り組みの経緯」欄でも記述したとおり、当該施策は「20 の施
	策」の中の一つであり、より多くの施策を複合的に実施することによって、
	鎌倉地域の交通環境改善に繋がるものと考えられる。
<b>その他特記事項</b>	
今後の方向性	
地域指定 等	

以上

都道府県市名 : 神奈川県鎌倉市  
 担当部局名 : 緑政都市部交通政策課